

公立高校入試情報 群馬県

【社会】

令和6年度群馬県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問数：地2・歴2・公2・地歴公1の計7問（昨年と同じ）。
- 小問数：35問（昨年と同じ）。
- 文章記述問題は10問（昨年は9問）。
- 出題傾向について
- 文章記述問題が多いため、時間配分に注意を払う必要がある。
- 文章記述問題は、資料を読み取る力や思考力・表現力を必要とするものが多い。
- 見慣れない資料もあるが、統計表やグラフの基本的な見方をわかっていれば読み取ることができるので、落ち着いて見ること。

■ 文章記述問題の出題

- ・記述問題が多く、資料から読み取れること・考えられることを記述させる問題が出題されているため、記述対策と資料の読み取り対策の両方が必要。

■ 資料読み取り問題の出題

- ・地歴公の各分野で、複数の資料を読み取る問題が出題されるため、さまざまな資料に慣れておく必要がある。

★群馬県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿			●
		日本の姿	●		
		世界各地の人々の生活と環境		●	
		アジア州			●
		ヨーロッパ州、アフリカ州			
		北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法	●	●	●
		日本の自然、人口	●	●	●
		日本の資源・産業、世界との結びつき	●	●	●
		九州地方、中国・四国地方		●	●
	歴史的分野	近畿地方、中部地方		●	●
		関東地方、東北地方、北海道地方	●	●	
		文明のおこりと日本	●	●	●
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一		●	
		近世社会の発展	●	●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国			
		近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	
出題形式別の傾向	公民的分野	現代の日本と世界	●	●	●
		現代社会と私たちの生活		●	●
		個人の尊重と日本国憲法	●	●	
		現代の民主政治、国会	●		●
		内閣・裁判所、三権分立			●
		地方自治	●		
		消費生活と流通・生産、市場経済と金融	●		●
		財政、国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち		●	
		分野統合	●	●	●
出題形式別の傾向	大問数		7	7	7
	小問数		37	35	35
	記号解答		13	22	20
	用語記述		9	2	6
	文章記述		15	11	9
	作業・作図				